

(別紙4(2))

事業所名 グループホームわいわい白州

目標達成計画

作成日 ; 令和 6年 4月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍の制限が緩やかになってきた中で、以前として家族や地域との交流が減少している。法人の毎月の便りなどで情報を発信しているが、家族側からは現場との情報のやり取りについては満足度がそれほど高くなかった。	入居者と家族、家族と事業所との連絡・情報共有を密にしていく。	○法人の機関誌に事業所での生活の様子を掲載し、家族に継続して郵送していく。 ○感染防止に努め、家族の面談希望に緩やかに応じていく。 ○ホーム長・ユニット長を中心に家族との連携連絡をさらにコミュニケーションを深める努力をする。 ○感染防止に努めながら、外出の機会を積極的につくり実行する	12ヶ月
2		職員が生き生きと働けているのか、要望や悩み・不安等の確認が十分できていない。	心地いい就労環境を目指す。	○職員面談を採用後・半年後など、繁忙に流されずに定例で行う。 ○個人の取り組み目標を明確にして、法人として後方支援を行う。 ○職員と就労についての聞き取り、アンケートを実施し、要望等を把握する。 ○職員の人材不足の影響を受けている、今いる職員が生き生きと働ける環境整備に心がけて様ざまな意見を集約して改善に取り組んでいく。	12ヶ月